

防火について考えよう

玉小学校5年い組 近藤 彩

昨年は、全国的に大規模な火事が多く発生し、玉野市でも大きな火事がありました。何日も続く火事で家の近くまで来てしまった。たうしようとして、とても怖い思いをしました。原因は、伐採した木を燃やそうとしていて、周りに燃え移ってしまったことだったようです。消防庁のホームページを見ると、火事の原因になるものでは、たき火が最も多く、

次に、タバコが多いと書いてありました。

私の家族は家の庭でバーベキューをすることがあり、その時に気を付けていることがあります。火をつける前に、バケツに水をくんですぐ近くにおくこと、ホースからすぐに水を出せるようにしておくことです。これは、弟がアニメを観て知ったことで、家族みんなに教えてくれました。それを聞いてから家族で約束して、実際にその方法をやっていることにしました。

知った知識を家族にも知らせる弟の行動に、私はとても驚きました。この方法を家族だけではなくて地域の人たちにも伝えていきたいと思いました。が、どうやって伝えたらいいか思いつかず、両親やおじいちゃんたちにも相談してみました。お母さんが「お友達に伝えておくね」おじいちゃんか「近所の人とお話をするときには話しておくね」と言ってくれました。お母さんの友達からその友達へ、近所の人たちからその知り合いへとだんだん広がって、火事が起きないように気を付けてくれる人が少しだけでも増えたら嬉しいと思いました。

火事は、初期消火がとても大事と聞きました。初期消火の三原則は「早く知らせる」「早く消す」「早く逃げる」ですが、弟の行動や周りの人たちに防火意識を持つてもらうことは、私は初期消火より一番大事なことでと思います。

でもいくら気をつけても火事は起こってし

まうことがあります。特に自分の家が火事になることが、私は一番怖いです。私が今住んでいる家は燃えにくい設計になっていて、聞きました。だから、すべての家が燃えにくい、燃え広がりにくい設計になっていけばいいなと思います。私はこの作文を書きながら、火事としても怖いと強く思いました。もし火事を起こしてしまったり、とき何をすればいいか、知っておけば少しでも早く行動に移すことができます。火事だけでなく他の災害のことを普段から意識をして知っていくことが大事だと強く思いました。